

# 環境教育 「まず、今できることから」 歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会  
編集者：代表幹事 高橋 賢一  
連絡先：市民活動支援センター  
尾張旭市渋川町三丁目5番地7  
(渋川福祉センター内)  
TEL 0561-51-2878



伏見橋と調和した姿はい見ても絶景である



「令和」の英訳とは長万集(万葉集)にある歌の一節だ。ハ物語は改まる良し

皇居の二重橋



高村光太郎の「梅の花の歌の序」には、初春の今月にして、気淑く風和み、梅は鏡前の粉を抜き、蘆は珮後の香を薫す。



すべては新しくなるのが良い。色や形ではっきり見えるわけで、今和元年である。

美しき今知の巻も、多難で埋められるかもしれない。次の時代も戦争がないよう。

世の中はいつも、連休と変わる。穏やかなみえる。平成の始まりにあった、服喪の重さとは、生前退位による、代替りの静かな、空気の辛ゆくり、平成の道想した方も、多しめではな

▲東京八王子にある昭和天皇陵

伊勢神宮宇治橋



万葉の歌は続く。人たしくも合さる行く、が、良い。か、バ、レ、もの、は、新、なる、の、ら、古、なる、の、良、い、ら、大、なる、の、良、い、ら、



皇居宮殿の入口となる皇居正門石橋は新皇と天皇誕生の一般参賀のみ